

V りんどうをつくる

1 りんどうづくり

伊南村の夏は、一日の気温の差が大きいので、りんどうづくりにとでもてきしています。

りんどうづくりは、春にたねをまき、1年間なえをそだてます。そして、次の年の雪がきえたころに黒いマルチシートを田にはり、土のかわきや草がはえるのをふせぎます。そこになえをうえます。

りんどうには、早くさく花、おそくさく花があります。早くさく花は、春になえをうえます。おそくさく花は、秋になえをうえます。こうして一年間かぶをふやして、3年目にやっとしゅうかくできます。

しゅうかくは、つゆのつかない夕方におこなわれます。水気がついてりんどうがくさるのをふせぐためです。切りとった花は、よくかわかして大きさごとにわけ、はこにつめられます。

はこづめしたりんどうは、農業協同組合（JA）にはこばれ、花のしゅうか所できびしいきかくけんさをされ出荷されます。しゅうか所では、トマトのようにせんか機がないため、花の色葉のぐあいなどを目で見てせんべつされます。

しゅうか先は関東方面で、次の日の朝つくように送られます。しゅうかくした後の田は、「^{れいひ}礼肥」といってひりょうをあげ、次の年に、きれいな花がさくようにくふうされています。

りんどうづくりごよみ

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1年目			●	—————				●	
			春うえ				秋うえ		
2年目	————— 株をそだてる —————								
3年目 から	—————					しゅうかく			
	花のさくじき -----								